



97人の新しいおともだち ~ 釈迦内小学校 ~

今月4日、市内の小、中学校では入学式が一斉に行われました。釈迦内小学校では午後1時から式典が始まり、畠山校長が「自分のことは自分でできるよい子になってください」とあいさつ。そのあと上級生やお母さんたちによるおゆうぎや歌の歓迎会が行われ、97人の子供たちは希望に胸ふくらませた初めての学校生活のスタートをきりました。

マイ、タウン・ガイド

釈迦内版

二カ年事業で 釈迦内小を改築

釈迦内小学校は、今年度から二カ年事業で改築することになりました。現在の校舎は、昭和二十四年に建築され、その後増改築と修繕を重ねてきましたが、建物の老朽化が一段と著しくなり、地元の人たちからも早期改築の要望が出されていきました。計画では、今年度は六億三千万円の予算で現校舎の隣りに鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ面積三千八百平方メートルの校舎棟と二百二十平方メートルの給食調理棟を建設します。普

通教室は、昨年改築した川口小学校と同じく広々としたオープンスペース（ワークルーム）を設けており、クラスや学年をこえた交流や多様な学習・生活する場などに利用されます。また、木材産業を振興するため、内部には木材を多用することになっています。なお一部校舎は比較的新しいためそのまま使用することになり、新校舎と渡り廊下でつなぐことにしています。校舎などの建設工事は、議会の承認を得た後、早ければ夏休み前に着工し、来年三月ごろまでに完成の予定。残りの体育館や特別教室棟は、六十二年度に建設する計画になっています。

釈迦内にまつわる むがしっこ

唐糸の塚

鎌倉の執権北條時頼には側近く仕える女が七人いました。その中にたいそう美しく、氣立もよく賢い唐糸がおり、時頼は誰よりも一番この女をかわいがっていました。このため唐糸は、ほかの女たちからたいそううねたまれ、事あるごとにつらく当たられる毎日でした。ある時無実の罪を着せられ、船で海に流されてしまいました。何日も何日も流された船は、陸奥の国・津軽（現在の青森県）の外が浜に流れ着きました。一方、執権職をしりぞいた時頼は出家し、国々を巡っていました。



改築される釈迦内小学校

そして、外が浜のからすが池という大きな池にさしかかった時、偶然にもそこで洗たくをしている唐糸に出会ったのです。その晩、唐糸はやつれはた姿を主人に見せることはしのびないと思い、からすが池へ身を投げてしまいました。それを知った時頼は、なげき悲しみ唐糸の髪の毛と着物の袖を身につけ七日ごとに唐糸の供養しながら旅を続け、出羽国比内、日也伽内（現在の釈迦内）で、蝦夷の言葉で日のよく当たる里という意味というところにとどまりつきました。ここで時頼は、釈迦如来像を刻み、小高い丘の上にお堂を建て、像の中に唐糸の髪の毛と袖の切れ端を入れて安置しました……。

※大正15年発行の「七座山 釈迦堂」（工藤五郎著）から釈迦内に関係のある部分を抜粋、簡略化したものです。

ちびっ子ギャラリー

お父さん

釈迦内保育園

おくむら かつと ちゃん



「プロレスごっこであそんでくれるよ」

わかさ ともゆき ちゃん



「トランプが得意なおとうさん」

まつおか ただし ちゃん



「もっとドライブにつれていって」

「マイ・タウン・ガイド」では毎月1回各地区の話題や、ユニークなグループ、行事などを紹介していきます。このような情報がありましたら広報係までお知らせください。